

奈良の農村を五感で感じよう

農村周遊



自転車ルート

奈良県内の農村には、農業の営みとともに守り受け継がれてきた美しい田園景観や豊かな自然、また伝統行事などの歴史・文化、新鮮で美味しい農作物など、都市にはない魅力が豊富に存在しています。田園風景、れんげ畑などどこか懐かしさが感じられる農村のもつ雰囲気を感じながら、農村集落、歴史ある古社寺、古墳を巡り、農産物に触れる体験をするなど、五感を通して楽しんでみませんか。

お問合せ：奈良県農村振興課 TEL：0742-27-7459

1 天理駅前広場コフフン

市内に約1,600基点在しながらも日常生活に美しく溶け込んでいる「古墳」。

駅前広場には、古墳をモチーフにデザインされた野外ステージや大型遊具、カフェ及び観光案内所があり、イベント開催や観光・ものづくり、農業情報の発信及び市民の憩いの場として活用されています。施設デザインは、国際的に活躍する佐藤オオキ氏が代表を務める「nendo(ネンド)」が担当。



【CofunShop】

天理を中心に県内でつくられた様々な地域製品の販売をしています。旅の思い出や、大切なご友人・ご家族のお土産にいかがでしょうか。

【Info&Lounge Cofun】

あなたの旅をサポート、山の辺の道や古墳群をはじめとしへの歴史や龍王山などの自然の景色を見る旅をご提案します。ノルディックポールの無料貸出&回収サービス(8km先の山の辺の道沿いにある「天理市トレイルセンター」で回収)もぜひご利用ください。

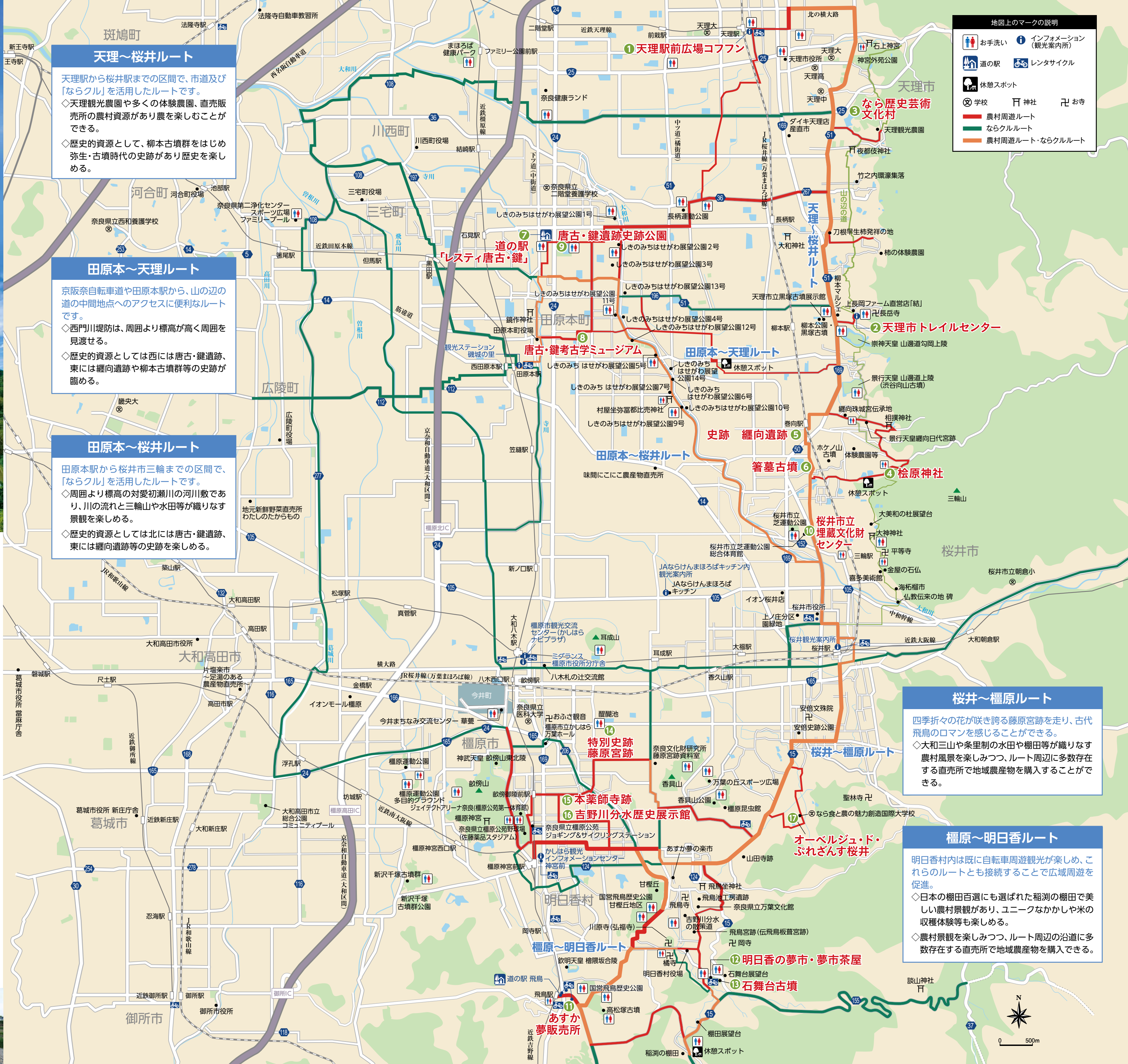
【ParkSide Kitchen】

地元で採れた食材を使用した日本食や惣菜パンを提供する「ネオ和食」をコンセプトにしたカフェレストラン。

【Bicycle Color】

米国スポーツバイクメーカーTREK社の自転車を販売・修理・レンタル。天理駅を拠点に、市内サイクリングや、奈良、桜井、明日香、そして吉野や三重へむかう長距離ツーリングをサポートします。

天理市川原城町803 TEL:0743-61-5544 (Information) 9:00~16:00 (休) 不定休



②^{てんりし}天理市トレイルセンター

天理市トレイルセンターは、山の辺の道を歩く方々や龍王山への軽登山者の方々のための休憩施設であり、観光・イベント情報の発信、文化財の展示や地域製品の販売まで担う総合施設です。

また、豊かな自然の中で育まれた地元の野菜や果物をふんだんに取り入れている人気洋食レストラン「洋食 Katsui 山の辺の道」も併設しています。

近くには、卑弥呼の鏡で知られる三角縁神獣鏡(さんかくぶちしんじゅうきょう)が33面も出土したことで有名な黒塚古墳があり、併設する展示館では復元された竪穴式石室や出土した鏡や刀剣のレプリカが展示されています。魅力的な旅・食・歴史・暮らしを考える多機能交流施設に、ぜひ足を運んでみてください。



天理市柳本町577-1 TEL:0743-67-3810 ☎ 8:30～17:00 🚶 第1月曜日

③^{れきし げいじつぶん かむら}なら歴史芸術文化村 *令和3年度中開村予定

なら歴史芸術文化村は、奈良の歴史文化資源に触れ、また質の高い芸術イベントを体験できる歴史文化活動の先駆的拠点として、整備を進めています。

本施設は、「見る・知る・学ぶ・体験する」を通じ、「本物に触れる」ことで「新たな視点・感性」が生まれることをコンセプトにしています。文化財の修復過程を見学することや、ハンズオン展示、修復体験など、様々な角度で奈良の歴史文化に触れることができます。また、アーティストと交流したり、文化芸術イベント等も開催予定です。また、産直レストランや農産物の直売所、伝統工芸品の展示・販売施設、観光案内施設など様々な機能を有しているため、奥深い奈良の魅力を知ることができます。

施設内にはサイクルステーションがあり、更衣室やシャワー室を設けているため、周辺エリアを周遊される際は、是非お立ち寄りください。



天理市仙之内町

④^{ひばらじんじや}桜原神社

西に続く檜原台地は大和国中を一望する絶好の地です。春分、秋分のころ、神社の正面に見える二上山に夕日が沈む様子は、幻想的です。

宮殿に祀っていた天照大神の神霊を崇神天皇が豊饒入姫命に託して祀ったと言われています。元伊勢の伝承地です。



桜井市三輪1422 TEL:0744-42-6633 (大神神社) ● 境内自由

⑤^{しせき まきむくいせき}史跡 纏向遺跡

桜井市の北部、JR巻向駅周辺に位置する纏向遺跡は、南北約1.5km、東西約2kmと広範囲に広がり、さまざまな特徴を有し、初期ヤマト王権発祥の地として、また、邪馬台国の有力地と目されています。

一部は史跡指定を受けており、2018年には、桜井市辻地区で発掘された大型建物を含む柱跡が復元されました。



桜井市大字辻・太田周辺 TEL:0744-42-9111 (観光まちづくり課) ● 見学自由

⑥^{はしはか こふん}箸墓古墳

前方後円墳の中では最古式の1つで、邪馬台国の女王「卑弥呼」の墓ではないかと考えられています。

全長約280m、3世紀後半頃の築造で、宮内庁によって倭迹迹日百襲姫命の墓と指定されています。

「日本書紀」には、昼は人がつくり夜は神がつくったという不思議な記述が残っています。



桜井市大字箸中 TEL:0744-42-9111 (観光まちづくり課) ● 見学自由

⑦^{からこ かぎ}道の駅「レスティ唐古・鍵」

道の駅「レスティ唐古・鍵」は、奈良県中南和地域の観光の玄関口として、「田原本でこそのもてなし」をお届けする道の駅として平成30年4月20日(金)にオープンしました。

さまざまなイベントの開催とともに、田原本町内の新鮮な野菜、果物、花をはじめ地元や県下の特産品を多数販売しています。また、1階のベーカリーでは「黄金の生食パン極」を製造直売するとともに、各種ジェラートを販売しています。、2階のカフェでは、ドリンクメニューや田原本産野菜を使った軽食メニューなど、“田原本グルメ”も楽しんでいただけます。令和元年8月からは地元県立高校である磯城野高校の学生により考案されたバーガーに道の駅でアレンジを加えた「磯城野レスティバーガー」の販売を開始しました。(土日祝限定)



磯城郡田原本町大字唐古70-1 TEL:0744-33-9170 ☎ 9:00～18:00 🚶 年中無休
http://www.narakotsu.co.jp/kanren/karako-kagi/

⑧^{からこ かぎこう こがく}唐古・鍵考古学ミュージアム

このミュージアムでは、弥生時代の大環濠集落遺跡である唐古・鍵遺跡から出土した考古資料を中心に、約570点を展示しています。弥生時代の生活文化、弥生の美・形・技等をテーマとし、国の重要文化財約376点が並びます。

唐古・鍵ムラ全景のジオラマをはじめ、弥生時代の環境や生業、他地域との交流などの展示を通して弥生時代の暮らしがわかる第一室、唐古・鍵遺跡から出土した重要かつ魅力的な逸品が並ぶ第二室、纏向遺跡など唐古・鍵周辺に関する展示や、田原本の埴輪について学べる第三室により構成され、約2000年前の生活文化を知ることができます。



磯城郡田原本町阪手233-1 田原本青垣生涯学習センター2階 TEL:0744-34-7100

☎ 9:00～17:00(入館は～16:30)
🚶 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、次の平日が休館)、年末年始(12月28日～1月4日)
💎 大人200円、高校生・大学生等150円、15歳以下無料 ※団体等その他割引あり
http://www.town.tawaramoto.nara.jp/karako_kagi/museum/1996.html

⑨^{からこ かぎ いせき しせきこうえん}唐古・鍵遺跡史跡公園

唐古・鍵遺跡は、奈良盆地の中央部に立地する弥生時代の集落遺跡で、その面積は約42haに及びます。1936・37年、国道24号の敷設に伴う唐古池の発掘調査では、多量の土器や木製品などが発見され、弥生時代が稲作農耕の時代であることを証明しました。

その後、1977年から発掘調査が現在に至るまで発掘調査が進められ、この集落が多重環濠を有する大環濠集落であることが判明しました。集落内部では、大型建物跡や青銅器の工房跡、井戸などが検出されています。

1999年には、遺跡の中央部約10haが国の史跡に指定され、2018年には「唐古・鍵遺跡史跡公園」として開園しました。公園は、弥生時代の風景の再現と出来事を追体験できる場を目指しています。園内には、遺跡の特徴である多重環濠や大型建物の柱群を復元するとともに、当時の植生に合わせた植栽をおこなっています。また、遺跡から見つかった絵画土器片をもとにして復元した楼閣は、田原本町のシンボルタワーとなっています。



磯城郡田原本町唐古50-2 TEL:0744-34-5500 ☎ 9:00～17:00(遺構展示情報館への入館と駐車場への入場は～16:30) 🚶 月曜日(月曜日が祝日の場合は、その日に最も近い平日を休園日)、年末年始(12月28日～1月4日) 🆓 無料 https://www.karako-kagi.com/

⑩^{さくら い しりつまいぞうぶん かざい}桜井市立埋蔵文化財センター

桜井市内の埋蔵文化財の発掘調査や研究の成果がひと目でわかるよう土器や石器をはじめ、遺跡の出土品全般を旧石器時代から古代・中世まで各時代ごとに展示しています。



桜井市芝58-2 TEL:0744-42-6005 ☎ 9:00～16:00 🚶 月・火曜日、祝日の翌日、年末年始
💎 大人300円、小人150円 団体(20人以上) 大人200円、小人100円 ※特別展開催中は料金が変更

⑪^{ゆめほんばいじょ}あすか夢販売所

安い！ 新鮮！ 安心！
明日香村産の新鮮な野菜や加工品を中心に、旬な農産物を皆様にお届けする『三拍子そろった直売所』です。

明日香村を代表する直売所であり、平成11年4月1日のオープン後、平成23年には「全国直売所甲子園2011」にて優秀賞を獲得しています。

明日香村の農業の特徴である少量多品目栽培を活かし、新鮮で珍しい野菜などを取り揃えているほか、明日香村産の野菜を使用した漬け物、手づくりのお菓子などの加工品も豊富です。
近鉄飛鳥駅前の道の駅「飛鳥」構内に位置しているため、電車・お車でも便利な立地。
「地域の人が普段使いできる店」、「観光に来た方がお土産を買って帰れる店」という2つの役割を担い、多くの方に愛される農林産物直売所です。



高市郡明日香村御園2-1 TEL:0744-54-5670(農事組合法人 ふるさと明日香 あすか夢販売所)
☎ 9:00～17:00 🚶 年中無休(但し正月は除く) http://askyume.com/

⑫^{あすか ゆめいち ゆめいちやや}明日香の夢市・夢市茶屋

石舞台古墳のそばにある、木の香りとぬくもりに包まれた農村レストラン。地産地消をモットーに、古代米や村内で採れた季節の野菜を地元のお母さんたちが手間暇かけて調理しています。
おすめは、古代米御膳。(3～11月提供)
赤米や黒米のごはん、明日香産野菜をたっぷり使ったおかず、吉野葛と豆乳で作るぶるんとした食感が楽しい呉豆腐など、満足感あふれる御膳です。冬には飛鳥鍋も登場します。(12～2月提供)

1階には土産物屋「明日香の夢市」があり、とれたての野菜や果物、大好評の飛鳥米・古代米、こだわりの加工品、手づくり小物など、思わず手にとってみたくなるものばかりです。
明日香のおみやげ処として、また明日香観光の拠点としてご利用ください。



高市郡明日香村島庄154-3 TEL:0744-54-9450 ☎ 11:00～16:00(土日祝～17:00)
🚶 年中無休(年末年始除く) http://asukadeasobo.jp/shop/yumeichi

⑬^{いしぶたい こふん}石舞台古墳

蘇我馬子(そののうまこ)の墓と伝えられる、巨石30個を積み上げて造られた石室古墳です。

その規模は日本最大級を誇り、岩の総重量は約2300トンといわれています。
特に天井石は約77トンもあり、造られた当時の優れた土木・運搬技術がうかがわれる古墳。

外から見ても、中をのぞいてもその大きさには圧倒されます。

盛土が失われて石室が露出しており、その天井石の上面が平らなことや、月の夜に狐が美女に化けてこの上で舞ったという言い伝えなどから、「石舞台」と呼ばれています。周囲は芝生広場になっており、春は桃やサクラ、秋は彼岸花が咲く、明日香村の観光名所です。



高市郡明日香村島庄254 TEL:0744-54-9200(一般財団法人明日香村地域振興公社)
☎ 8:30～17:00 🚶 年中無休 💎 一般300円、高校生～小学生100円 ※団体等その他割引あり
https://asukamura.com/?page_id=328

⑭^{もとやくし じあと}本薬師寺跡

天武天皇が後の持統天皇である皇后の病気の平癒のため祈願して、天武9年(680年)に薬師如来を本尊とする寺の建立に着手。完成しないうちに天武天皇が崩御したので、持統天皇がその遺志を継いで完成させました。

現在では遺構として金堂跡と東西両塔跡に大きな礎石だけ残されています。



橿原市城殿町279 TEL:0744-20-1123(橿原市観光協会) ● 見学自由

⑮^{とくべつ しせき ふじわらきやうせき}特別史跡 藤原宮跡

藤原宮跡は、藤原京の中心施設である藤原宮のあったところ です。

藤原宮は一辺約1kmの中心に、大極殿や朝堂院といった国をあげての儀式や政治を行う施設や天皇の住まいである内裏などあり、現在の皇居と国会議事堂、霞ヶ関の官庁街を合わせた性格を持っていました。藤原京は16年間の都でしたが、藤原宮の構造はその後の都に引き継がれています。

藤原宮跡では、季節ごとに美しい花は植えられ、菜の花やコスモス、キバナコスモス、ハスなど色とりどりの大地のカーペットを楽しむことができます。



橿原市高殿町ほか TEL:0744-21-1114(橿原市世界遺産推進課) ● 駐車場あり

⑯^{よしの がわぶんすいれき してんじかん}吉野川分水歴史展示館 *令和2年度開館予定

吉野川分水～豊かな水を求めて
悲願の成就そして未来へ～

奈良県の大和平野は、「大和豊年米食わず」といわれるように、古来より農業用水不足に悩まされており、江戸元禄の時代から吉野川(紀の川)の水を大和平野へ引き入れる計画が幾度となく提案されてきましたが、当時は工事の難しさ、資金が膨大になること、そして和歌山県との調整など、多くの問題により実現には至りませんでした。

昭和27年に始まった世紀の大事業「十津川紀の川総合開発」により、昭和31年にはじめて吉野川の水が大和平野に分水されました。以来、工事の進捗とともにそのおかげで大和平野は潤い、安定した営農が可能となりました。また、吉野川分水は地下水の涵養や水質保全等にも大きく役割を果たしています。吉野川分水歴史展示館は、吉野川分水の歴史が示された関係資料などにより、先賢が残した幾多の業績をたたえ、後世に伝えていきます。

当館では、プロジェクションマッピングやドローン撮影を使った映像を取り入れ、大人から子供まで「楽しみ・学び・親しんでいただける場」として吉野川分水を身近に感じてもらい、そして自然への感謝、その恩恵や水源地への感謝の気持ちを後世へ伝えられるよう情報発信してまいります。



橿原市城殿町459 TEL:0744-22-2052 🆓 無料 ☎ 9:00～16:00(土日祝日は要予約)

⑰^{さくらい}オーベルジュ・ド・ぷれざんす桜井

オーベルジュの根本である、地産地消。レストランでは、大和野菜や大和牛をはじめ奈良の豊かな風土で育った食材を中心に、和歌山や三重など近海の魚介類やフランス産の厳選食材も用いて、シェフ独自の創造性豊かなフランス料理をご提供します。その日に使う野菜は、シェフが毎朝、直売所に出かけ、生産者の方と吟味して選んだ「旬」のものばかり。大和平野の穏やかな田園風景を一望するダイニングで、ここでしか味わえない至福のひとつときをお楽しみください。



桜井市高家2217 TEL:0744-49-0880 ☎ レストラン(要予約)／ランチ 11:30～13:30(L.O.)、ディナー 17:30～20:00(L.O.) 🚶 月曜日(ランチ・ディナー)、火曜日(ランチ)
💎 ラunch 5,000円、7,000円、ディナー 9,000円、12,000円、15,000円
http://www.hiramatsuhotels.com/plaisance-sakurai/